

「獣医内科学 第2版」の正誤

第1刷めをお持ちの方

『小動物編』

1. 395頁 図8-35, 図8-36, 図8-37の説明が入れ違っていました。

正しい説明は以下の通りです。(CD-ROMも同様です)

図8-35

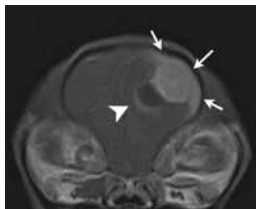


図8-35 5歳齢, 避妊雌, パピヨン. 疼痛を主訴に来院. 画像は前頭葉前部レベルの造影T1強調像である. 嚢胞(矢印)を形成し, 髄膜面に接した腫瘍(髄膜腫)がみられる.

図8-36

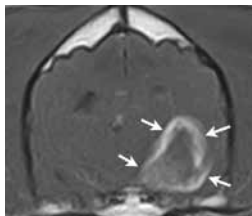


図8-36 11歳齢, 雄, 雑種犬. 旋回およびてんかん発作を発症して来院. 画像は, 視床レベルの造影T1強調像である. 右側側頭葉部に辺縁が増強される腫瘍(星状膠細胞腫)がみられる.

図8-37

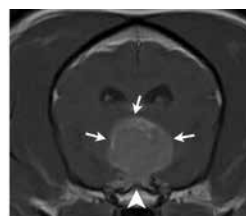


図8-37 9歳齢, 雄, ミニチュア・ダックスフンド. 沈うつ, 徘徊を発症して来院. 画像は視床レベルの造影T1強調像である. トルコ鞍部に連続する腫瘍(下垂体腺腫)がみられる.

2. 383頁, 表8-3に誤りがありました。赤字部分を訂正いたします。

表8-3 推定される病変部位と徴候

推定される病変部位	頸髄	頸髄尾側～ 胸髄頭側	胸髄尾側～ 腰髄頭側	腰髄尾側
運動徴候の異常	C1～C5	C6～T2	T3～L3	L4～S3
後肢	UMN 徴候	UMN 徴候	UMN 徴候	LMN 徴候
前肢	UMN 徴候	LMN 徴候	正常	LMN 徴候



表8-3 推定される病変部位と徴候

推定される病変部位	頸髄	頸髄尾側～ 胸髄頭側	胸髄尾側～ 腰髄頭側	腰髄尾側
運動徴候の異常	C1～C5	C6～T2	T3～L3	L4～S3
後肢	UMN 徴候	UMN 徴候	UMN 徴候	LMN 徴候
前肢	UMN 徴候	LMN 徴候	正常	正常

3.

掲載箇所	訂正前	訂正後
51頁 左段 上から12行目	両者の鑑別として, 肺性チアノーゼは, 酸素吸入により一般的に減少～消失するが, 心臓性チアノーゼは, 酸素吸入により不変である.	左記の一文を同じく左段上から18行目の後ろに移動. 「…気腫, 肺線維症および原発性肺高血圧症などで認められる. 両者の鑑別として, 肺性チアノーゼは, 酸素吸入により一般的に減少～消失するが, 心臓性チアノーゼは, 酸素吸入により不変である. 心臓性チアノーゼは, アイゼンメンジャー…」
54頁 左段 上から9行目	…疲労減少を避けるために, …	…疲労現象を避けるために, …
259頁 左段 下から10行目	…一般的に肝内性は大型犬そして肝内性は小型犬で発生するが, …	…一般的に肝内性は大型犬そして肝外性は小型犬で発生するが, …
581頁 右段 上から23行目	プロジェステロン	プロジェステロン

『大動物編』

1. 66 頁 図 3-2 は誤りでした。
正しい図および説明



図 3-2 咽頭虚脱の運動中の内視鏡所見（馬）。運動中の内視鏡検査により，走行中咽頭壁が内側へ虚脱していることが分かる．中央奥に喉頭が観察される．〔加藤史樹先生（社台ホースクリニック）の厚意により掲載〕

- 2.

掲載箇所	訂正前	訂正後
67 頁 右段下から 16 行目	被裂軟骨麻痺によって，喉頭が十分に…	披 裂軟骨麻痺によって，喉頭が十分に…
68 頁 図 3-5 の説明	図 3-5 喉頭片麻痺の内視鏡所見（馬）．左被裂軟骨小角突起が…	図 3-5 喉頭片麻痺の内視鏡所見（馬）．左 披 裂軟骨小角突起が
90 頁 左段【発生機序】	狼歯は馬の過剰歯であり， <u>上顎第一前臼歯の直前に</u> 生後 1 年頃に生えてくる…	狼歯は馬の過剰歯であり，生後 1 年頃に生えてくる…
106 頁 右段下から 2 行目	馬の大結腸背側変位（腎脾エンタラップメント）では，…	馬の大結腸 左 背側変位（腎脾エンタラップメント）では，…
107 頁 左段上から 1 行目	…盲腸ヒモを集束して…	… 結 腸ヒモを集束して…
209 頁 左段上から 8 行目	特徴的な腰萎症状，…	特徴的な腰 萎 症状，…
233 頁 右段上から 15 行目	(1) 馬のウォブラー症候群（腰麻痺，腰萎）	(1) 馬のウォブラー症候群（腰麻痺，腰 萎 ）
233 頁 右段下から 9 行目	…運動失調が現れ，腰萎あるいは…	…運動失調が現れ，腰 萎 あるいは…
344 頁 左段【症状】 6 行目	…実験的に繁殖した欠乏症牛群において，一方，和牛では…	…実験的に繁殖した欠乏症牛群において， 子牛の流産，死産 や生後 48 時間以内の死亡が認められている．一方，和牛では…

第 2 刷めをお持ちの方

『小動物編』

1. 383 頁，表 8-3 に誤りがありました。赤字部分を訂正いたします。

表8-3 推定される病変部位と徴候					表8-3 推定される病変部位と徴候					
推定される病変部位	頸髄	頸髄尾側～ 胸髄頭側	胸髄尾側～ 腰髄頭側	腰髄尾側		推定される病変部位	頸髄	頸髄尾側～ 胸髄頭側	胸髄尾側～ 腰髄頭側	腰髄尾側
運動徴候の異常	C1～C5	C6～T2	T3～L3	L4～S3	→	運動徴候の異常	C1～C5	C6～T2	T3～L3	L4～S3
後肢	UMN 徴候	UMN 徴候	UMN 徴候	LMN 徴候		後肢	UMN 徴候	UMN 徴候	UMN 徴候	LMN 徴候
前肢	UMN 徴候	LMN 徴候	正常	LMN 徴候		前肢	UMN 徴候	LMN 徴候	正常	正常

2.

掲載箇所	訂正前	訂正後
51 頁 左段 上から 12 行目	両者の鑑別として、肺性チアノーゼは、酸素吸入により一般的に減少～消失するが、心臓性チアノーゼは、酸素吸入により不変である。	左記の一文を同じく左段上から 18 行目の後ろに移動。 「…気腫，肺線維症および原発性肺高血圧症などで認められる。 両者の鑑別として、肺性チアノーゼは、酸素吸入により一般的に減少～消失するが、心臓性チアノーゼは、酸素吸入により不変である。心臓性チアノーゼは、アイゼンメンジャー…」
54 頁 左段 上から 9 行目	…疲労減少を避けるために、…	…疲労現象を避けるために、…
259 頁 左段 下から 10 行目	…一般的に肝内性は大型犬そして肝内性は小型犬で発生するが、…	…一般的に肝内性は大型犬そして肝外性は小型犬で発生するが、…
581 頁 右段 上から 23 行目	プロジェステロン	プロジェステロン

『大動物編』

1. 66 頁 図 3-2 は誤りでした。
正しい図および説明



図 3-2 咽頭虚脱の運動中の内視鏡所見（馬）。運動中の内視鏡検査により，走行中咽頭壁が内側へ虚脱していることが分かる。中央奥に喉頭が観察される。〔加藤史樹先生（社台ホースクリニック）の厚意により掲載〕

2.

掲載箇所	訂正前	訂正後
67 頁 右段下から 16 行目	被裂軟骨麻痺によって，喉頭が十分に…	被裂軟骨麻痺によって，喉頭が十分に…
68 頁 図 3-5 の説明	図 3-5 喉頭片麻痺の内視鏡所見（馬）。左被裂軟骨小角突起が…	図 3-5 喉頭片麻痺の内視鏡所見（馬）。左被裂軟骨小角突起が…
90 頁 左段【発生機序】	狼歯は馬の過剰歯であり，上顎第一前臼歯の直前に生後 1 年頃に生えてくる…	狼歯は馬の過剰歯であり，生後 1 年頃に生えてくる…
106 頁 右段下から 2 行目	馬の大結腸背側変位（腎脾エントラップメント）では，…	馬の大結腸左背側変位（腎脾エントラップメント）では，…
107 頁 左段上から 1 行目	…盲腸ヒモを集束して…	…結腸ヒモを集束して…
209 頁 左段上から 8 行目	特徴的な腰萎症状，…	特徴的な腰疼症状，…
233 頁 右段上から 15 行目	(1) 馬のウオブラー症候群（腰麻痺，腰萎）	(1) 馬のウオブラー症候群（腰麻痺，腰疼）
233 頁 右段下から 9 行目	…運動失調が現れ，腰萎あるいは…	…運動失調が現れ，腰疼あるいは…

第3刷めをお持ちの方

『小動物編』

1. 383頁、表8-3に誤りがありました。赤字部分を訂正いたします。

表8-3 推定される病変部位と徴候					表8-3 推定される病変部位と徴候				
推定される病変部位	頸髄	頸髄尾側～ 胸髄頭側	胸髄尾側～ 腰髄頭側	腰髄尾側	推定される病変部位	頸髄	頸髄尾側～ 胸髄頭側	胸髄尾側～ 腰髄頭側	腰髄尾側
運動徴候の異常	C1～C5	C6～T2	T3～L3	L4～S3	運動徴候の異常	C1～C5	C6～T2	T3～L3	L4～S3
後肢	UMN徴候	UMN徴候	UMN徴候	LMN徴候	後肢	UMN徴候	UMN徴候	UMN徴候	LMN徴候
前肢	UMN徴候	LMN徴候	正常	LMN徴候	前肢	UMN徴候	LMN徴候	正常	正常

2.

掲載箇所	訂正前	訂正後
51頁 左段 上から12行目	両者の鑑別として、肺性チアノーゼは、酸素吸入により一般的に減少～消失するが、心臓性チアノーゼは、酸素吸入により不変である。	左記の一文を同じく左段上から18行目の後ろに移動。 「…気腫、肺線維症および原発性肺高血圧症などで認められる。 両者の鑑別として、肺性チアノーゼは、酸素吸入により一般的に減少～消失するが、心臓性チアノーゼは、酸素吸入により不変である。心臓性チアノーゼは、アイゼンメンジャー…」
54頁 左段 上から9行目	…疲労減少を避けるために、…	…疲労現象を避けるために、…
259頁 左段 下から10行目	…一般的に肝内性は大型犬そして肝内性は小型犬で発生するが、…	…一般的に肝内性は大型犬そして肝外性は小型犬で発生するが、…
581頁 右段 上から23行目	プロジェステロン	プロジェステロン

『大動物編』

掲載箇所	訂正前	訂正後
67頁 右段下から16行目	被裂軟骨麻痺によって、喉頭が十分に…	披裂軟骨麻痺によって、喉頭が十分に…
68頁 図3-5の説明	図3-5 喉頭片麻痺の内視鏡所見（馬）。左被裂軟骨小角突起が…	図3-5 喉頭片麻痺の内視鏡所見（馬）。左披裂軟骨小角突起が…

第4刷めをお持ちの方

『小動物編』

掲載箇所	訂正前	訂正後
51頁 左段上から12行目	両者の鑑別として、肺性チアノーゼは、酸素吸入により一般的に減少～消失するが、心臓性チアノーゼは、酸素吸入により不変である。	左記の一文を同じく左段上から18行目の後ろに移動。 「…気腫、肺線維症および原発性肺高血圧症などで認められる。 両者の鑑別として、肺性チアノーゼは、酸素吸入により一般的に減少～消失するが、心臓性チアノーゼは、酸素吸入により不変である。心臓性チアノーゼは、アイゼンメンジャー…」
54頁 左段上から9行目	…疲労減少を避けるために、…	…疲労現象を避けるために、…

『大動物編』

掲載箇所	訂正前	訂正後
67頁 右段下から16行目	被裂軟骨麻痺によって、喉頭が十分に…	披裂軟骨麻痺によって、喉頭が十分に…
68頁 図3-5の説明	図3-5 喉頭片麻痺の内視鏡所見（馬）。左被裂軟骨小角突起が…	図3-5 喉頭片麻痺の内視鏡所見（馬）。左披裂軟骨小角突起が…

第 5 刷め以降をお持ちの方

『大動物編』

掲載箇所	訂正前	訂正後
67 頁 右段下から 16 行目	被裂軟骨麻痺によって、喉頭が十分に…	披裂軟骨麻痺によって、喉頭が十分に…
68 頁 図 3-5 の説明	図 3-5 喉頭片麻痺の内視鏡所見（馬）. 左被裂軟骨小角突起が…	図 3-5 喉頭片麻痺の内視鏡所見（馬）. 左披裂軟骨小角突起が…